

40年のあゆみ

PETボトル協議会



PETボトル
再利用品

ご挨拶



PETボトル協議会
会長 金子 友昭

PETボトル協議会は、昨年10月で、創立40年を迎える事が出来ました。これはひとえに、諸先輩ならびに会員諸氏をはじめ、関係各位のご努力とご支援の賜物であり、深く感謝いたします。

1982年に行われた食品衛生法の改正により、清涼飲料用途へのPETボトルの使用が認められ、PETボトルの新しい時代を迎えることになりました。この流れを受け、同年10月に、PETボトル協議会は、発足し、昨年10月に40周年を向かえることができました。この間、PETボトルを取りまく環境は、大きく変わり、昨年のリサイクル率は、86%まで向上し、回収率も94%に高まっております。水平リサイクルであるボトルtoボトルについても20.3%となりました。また、日本容器包装リサイクル協会の指定法人落札価格動向をみると容器包装リサイクル法に適用された当初は、集められたペールは、処理費用を払って処理を進めて頂いておりましたが、2006年以降、有価物として、取り扱いわれ、2022年度は、ウクライナ問題や円安などの影響で、資源高との外部要因もありますが、1トン当たり8.7万円の史上最高額で、取引されるまでになりました。

この成果は、30年以上前より、「再生利用が容易な製品設計」として、「指定PETボトルの自主設計ガイドライン」を制定し、運用してまいりました。

この自主設計ガイドラインにより、PETボトル本体は、単一素材で、着色などを禁止した無色透明なものに統一したことから、リサイクル性に優れ、日本におけるPETボトルリサイクル率が、世界に例を見ない高いリサイクル率の実現に大いに寄与したものと考えております。昨年4月には、プラスチックの資源循環を目的にした、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。この法律の中では、プラスチックの使用製品の設計指針が定められ、製造事業者が、取り組むべき事項や配慮すべき事項が示されましたが、この法律の概念は、当協会が30年前以上に確立した自主設計ガイドラインの思想が、活かされているものと考えております。

最後になりましたが、協会活動に携わられた諸先輩方のご努力に敬意を表するとともに、ご指導、ご支援、ご協力頂きました関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和5年2月

40年主要年表 [1967(昭和42)年頃～2000(平成12)年]

※ 部分は会員の入会、退会を示す。

1967(昭和42)頃

- 米国デュボン社、PETボトルの基礎技術確立

1973(昭和48)

- 米国の化学者ナサニエル・ワイエスがPETボトル特許を取得

1974(昭和49)

12月 ●米国において炭酸飲料用に使用開始

1977(昭和52)

1月 ●日本において醤油500ml容器として使用開始

1982(昭和57)

- 2月 ●食品衛生法が改正されて清涼飲料用にPETボトル使用が認められる
- 日本で耐熱ボトルが開発される
- 10月 ●PETボトル協議会設立 正会員11社(事務所:港区虎ノ門)
[正会員入会]
鐘淵化学工業(株)、日本ユニベツト(株)、帝人(株)、三井ベツト樹脂(株)
ユニチカ(株)、井上エムテープ(株)、大日本インキ化学工業(株)
ダイヤブロー(株)、東都成型(株)、東洋製罐(株)、(株)吉野工業所

1985(昭和60)

- 8月 ●酒類用(焼酎)容器として使用開始
- 10月 ●[正会員入会]
山村硝子(株)、富川化学工業(株)
- [賛助会員入会]
三菱商事(株)、三井物産(株)、ニチメン(株)、長瀬産業(株)
- 12月 ●[正会員入会]
(株)クラレ

1988(昭和63)

- 10月 ●[正会員入会]
大日本印刷(株)

1989(平成元年)

- 6月 ●[正会員入会]
北海製罐(株)
- 9月 ●[賛助会員入会]
丸紅(株)

1990(平成2)

- 4月 ●高知市、神奈川県伊勢原市でPETボトル回収実験開始
- 12月 ●[正会員入会]
凸版印刷(株)、三菱ガス化学(株)

1991(平成3)

- 神奈川県・秦野市・伊勢原市にて通産省モデルリサイクル実験開始
- 10月 ●[正会員入会]
電気化学工業(株)、長瀬産業(株)(賛助会員より変更)
- [賛助会員入会]
日精エイ・エス・ビー(株)
- [正会員退会]
東都成型(株)

1992(平成4)

- 7月 ●WPR出資のため「PETボトルリサイクル事業組合」発足
- 10月 ●PETボトル用自主設計ガイドラインを通産省、農水省および大蔵省の指導のもとに飲料用、しょうゆ用について設定

1993(平成5)

- 1月 ●再商品化施設ウィズベツトボトルリサイクル株式会社を設立
- 6月 ●PETボトルリサイクル推進協議会設立(略称:推進協議会)
●PETボトルが再資源化法第二種指定製品に指定される
- 飲料用、しょうゆ用PETボトルは識別マークを表示
- 9月 ●ウィズベツトボトルリサイクル(株)稼働
●PETボトルのリサイクルが本格的に開始

1994(平成6)

- 3月 ●PETボトル減容の推奨機種認定をPETボトル協議会が開始

1995(平成7)

- 4月 ●分別収集PETボトル受け入れガイドラインの施行
●第二種指定PETボトル自主設計ガイドラインの改定
- 6月 ●容器包装リサイクル法(容リ法)成立
- 7月 ●神田鍛冶町へ独立事務所開設
- 9月 ●PETボトルリサイクル推奨マークの運用を開始
- 12月 ●推進協議会はPETボトルの再商品化工場構想(全国8工場)を発表

1996(平成8)

- 4月 ●(社)全国清涼飲料工業会が小型PETボトルの発売の自主規制を廃止
- 9月 ●(財)日本容器包装リサイクル協会が発足し、法に定められた再商品化業務に当る

1997(平成9)

- 4月 ●容器包装リサイクル法がPETボトルへも適用

1998(平成10)

- 3月 ●[賛助会員退会]
丸紅(株)
- 4月 ●西日本ベツトボトルリサイクル(株)稼働
●[正会員入会]
日本キャンパツク(株)
- 9月 ●日本橋堀留町へ事務所移転

1999(平成11)

- 4月 ●北海道ベツトボトルリサイクル(株)稼働
- 5月 ●[正会員入会]
日本コカ・コーラ(株)
- 7月 ●[正会員入会]
大和製罐(株)
- 10月 ●PETボトルの収集量に対して再商品化能力が不足(一時的なミスマツチ現象)

2000(平成12)

- 3月 ●「PETボトル分別収集の手引き」、「PETボトルの再商品化能力確保に関する調査研究報告書」の厚生労働省作成に参画
- 4月 ●容器包装リサイクル法が完全施行
●東京ベツトボトルリサイクル(株)が稼働
●[正会員退会]
カネボウ合繊(株)
- [賛助会員入会]
ゲンゼ包装システム(株)、(株)フジシール
- 10月 ●[正会員入会]
パイオニア工業(株)、杉プラスチック工業(株)

※会員の社名変更については原則記載しておりませんが、以下の変更がありました。

鐘淵化学工業(株)→カネボウ合繊(株)、帝人(株)→帝人化成(株)、三井ベツト樹脂(株)→三井化学(株)→MCTベツトレジン(株)→三井化学(株)
井上エムテープ(株)→(株)イノアツクコーポレーション、大日本インキ化学工業(株)→DICプラスチック(株)、ダイヤブロー(株)→三菱樹脂(株)
三菱商事(株)→三菱商事プラスチック(株)、ニチメン(株)→双日プラネット(株)、日本コカ・コーラ(株)→コカ・コーラ協会

40年主要年表 [2001(平成13)年～2022(令和4)年]

※ 部分は会員の入会、退会を示す。

2001(平成13)

- 4月 ●グリーン購入法施行
 - 指定PETボトルの自主設計ガイドラインの改訂(着色ボトルの廃止など)
 - ジャパンテック(株)、中京荷役(株)稼働
 - [賛助会員入会]
丸紅テクノシステム(株)
- 5月 ●再商品化手法として化学分解法が認められる
- 9月 ●「PETボトルリサイクル年次報告書(2001年度版)発刊
- 12月 ●[賛助会員入会]
シーアイ化成(株)

2002(平成14)

- 4月 ●帝人ファイバー(株)が繊維向けに化学分解法によるリサイクルPETの生産開始
 - [賛助会員入会]
グンゼ(株)
- 7月 ●推進協議会和田会長が大木環境大臣と対談
- 12月 ●乳等省令の改正により、乳飲料へのPETボトルの使用が可能となる

2003(平成15)

- 4月 ●[賛助会員入会]
PETトレイ協議会
- 11月 ●帝人ファイバー(株)のボトルtoボトルプラントが稼働

2004(平成16)

- 中国輸出が増加
- 3月 ●食品安全委員会より化学分解法による再生PET容器包装が食品用容器包装として認められ、使用可能となる
- 4月 ●清涼飲料メーカーがボトルtoボトルによるPETボトル製品を上市
- 6月 ●推進協議会 豊田会長が小池環境大臣と対談
- 8月 ●容器包装リサイクル法の見直しの論議始まる
- 10月 ●「容器包装リサイクル法の見直しに関するヒヤリング」合同会合にて推進協議会の見解を発表、同時に記者説明会を開催
 - 現在の日本橋小伝馬町へ事務所移転

2005(平成17)

- 3月 ●「容器包装リサイクル法の見直しに関する意見書」経済産業省、環境省、農林水産省に提出し、それぞれの審議会等で資料として活用される
 - [正会員退会]
電気化学工業(株)、長瀬産業(株)
- 10月 ●(社)日本経済団体連合会は提言「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」を発表
- 12月 ●容器包装に係る八団体は「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」を発表

2006(平成18)

- 2月 ●指定法人にて使用済みPETボトルの有償入札が行われる
- 3月 ●容リ法の一部改正が国会に上程される
 - 3R推進団体連絡会を結成し、自主行動計画を発表
- 6月 ●容器包装リサイクル法の一部改正法(改正容リ法)成立
- 10月 ●「市町村に対し指定法人への円滑な引渡し」を求める要望書を送付
 - [正会員入会]
三菱商事プラスチック(株)(賛助会員より変更)

2007(平成19)

- 4月 ●[正会員入会]
三井物産(株)(賛助会員より変更)
 - [賛助会員入会]
日本クラウンコルク(株)
- 10月 ●乳等省令が改正され、乳等一群食品(牛乳等)の容器にPETボトルが使用可能となる
 - 容リ法の省令改正により市町村への資金拠出制度が新設される

2008(平成20)

- 2月 ●資源有効利用促進法が改正され、指定PETボトルに特定調味料が追加される
- 4月 ●[賛助会員入会]
(株)クレハ
- 10月 ●世界的金融危機のため使用済みPETボトルの国内外における価格が大幅に下落する

2009(平成21)

- 1月 ●緊急対策として指定法人は、追加入札および既存契約分の見直しを行う
- 3月 ●[正会員退会]
(株)クラレ
 - [賛助会員退会]
日精エイ・エス・ビー(株)
- 4月 ●指定法人契約量が204千トンの史上最高量
- 5月 ●[正会員入会]
日本パリソン(株)
- 6月 ●2008年から実施された環境省「ペットボトルを始めとした容器包装のリユース・デポジット等の循環的な利用に関する研究会」でPETボトルのリユース使用の結論が出される
- 12月 ●PETくず輸出量史上最高396千トン記録

2010(平成22)

- 4月 ●指定法人引渡し量194千トンの史上最高量
- 9月 ●[賛助会員入会]
三井物産(株)(正会員より変更)
- 12月 ●PETくず輸出量衰えず390千トン

2011(平成23)

- 3月 ●3R団体連絡会「第二次自主行動計画」を発表
 - [正会員退会]
ユニチカ(株)
- 4月 ●ミネラルウォーターの緊急輸入に対応(マーク表示、言語、ボトル着色等)
 - 容リ落札単価史上最高値(47.85円/kg)
 - [正会員入会]
(株)クレハ(賛助会員より変更)、
(三井化学(株)→MCTペトレジン(株))
 - [正会員退会]
帝人化成(株)
- 5月 ●メカニカルリサイクルのボトルtoボトル上市

2012(平成24)

- 2月 ●PETボトルリサイクル事業組合解散
- 4月 ●厚生労働省「食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関する食品衛生指針(ガイドライン)」が通達される
 - 指定法人ルート引渡し量、史上最高を更新(195千トン)
 - [賛助会員入会]
(株)クレハ(正会員より変更)
 - [正会員退会]
(株)イノアックコーポレーション
- 9月 ●[準正会員区分新設]
三菱商事プラスチック(株)(正会員より変更)、
三井物産(株)、双日プラネット(株)(2社賛助会員より変更)

2013(平成25)

- 4月 ●指定法人が引取り緩和措置として、2回入札の上期分を実施、
下期分は9月に実施
 - [準正会員入会]
豊田通商(株)
 - [賛助会員退会]
(株)クレハ
- 9月 ●容リ制度の2回目の見直し審議が始まる

2014(平成26)

- 4月 ●指定法人2回入札の正式実施
- 11月 ●農林水産省「食品容器包装のリサイクルに関する懇談会」の
議論をとりまとめて発表

2015(平成27)

- 1月 ●財務省貿易統計に使用済みPETボトル由来くず(フレーク状PETくず)の貿易コードが新設
- 3月 ●東京都が、廃PETボトルの店頭回収に係る再生利用指定制度
活用で収集運搬許可不要を通知
 - [正会員退会]
日本山村硝子(株)
 - [賛助会員退会]
ゲンゼ包装システム(株)
- 7月 ●容リ協のフレーク輸出の一部解禁を官報に発表

2016(平成28)

- 1月 ●環境省が、店頭回収された廃PETボトル等の廃棄物処理法上
の法的取り扱いを通知
- 3月 ●[正会員退会]
日本キャンパック(株)
- 4月 ●[賛助会員入会]
大阪シーリング印刷(株)
- 5月 ●容リ制度の2回目の見直し審議、18回の合同会合をもって
課題を認識し、終了
- 6月 ●3R推進団体連絡会「第3次自主行動計画」を発表

2017(平成29)

- 4月 ●容リ協の「ペットボトルリサイクルの在り方検討会」が始まる
 - 「アルコール発酵調味料」が「特定調味料」に追加され、指定PETボトルが拡大
 - [正会員名称変更]
三菱樹脂(株)→三菱ケミカル(株)
 - [賛助会員名称変更]
シーアイ化成(株)→タキロンシーアイ(株)
- 7月 ●中国政府がWTOに生活由来の固形廃棄物に関する具体的対
象24品目を示し輸入禁止の措置をとる旨通告
- 11月 ●環境省は中国禁輸措置に対応し、リサイクル高度化設備に
対し補助金の緊急支援を実施

2018(平成30)

- 1月 ●中国政府が生活由来の固形廃棄物に関する輸入禁止措置を
実施し、中国への廃PETボトルの輸出が停止
- 3月 ●[賛助会員退会]
タキロンシーアイ(株)
丸紅テクノシステム(株)
- 4月 ●全国みりん風調味料協議会が推進協議会の正会員入会
●[正会員統合]
日本ユニペット(株)が三菱ケミカル(株)に統合
- 6月 ●海岸漂着物処理推進法(通称)にマイクロプラスチック対策が
加わるなど改正
- 7月 ●タイ港湾局、生活由来の廃プラの輸入作業中止
●プラスチック資源循環戦略小委員会設置
- 11月 ●全清飲「清涼飲料業界のプラスチック資源循環宣言」を発表

2019(令和元)

- 5月 ●「プラスチック資源循環戦略」を閣議決定
- 6月 ●G20大阪サミットで「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実現
のための「マリーン(MARINE)・イニシアティブ」を立ち上げる
- 7月 ●シングルユースプラスチック規制のEU指令 発効

2020(令和2)

- 4月 ●[準正会員入会]
岩谷産業(株)、小林容器(株)
●[賛助会員入会]
(株)フロンティア
- 5月 ●産構審・中環審のプラスチック資源循環戦略の合同会議が
開催
- 6月 ●パーゼル法該非判断基準策定のための検討会始まる
- 8月 ●ボトルtoボトル 東京プロジェクト キックオフ会議開催

2021(令和3)

- 1月 ●改正パーゼル法(該非判断基準見直し)運用開始
- 4月 ●全清飲「2030年ボトルtoボトル比率50%宣言」を発表
 - 3R推進団体連絡会「自主行動計画2025」を発表
 - (社)日本ミネラルウォーター協会が推進協議会の正会員
入会
- 6月 ●「プラスチック資源循環促進法」成立

2022(令和4)

- 3月 ●[正会員退会]
コカ・コーラ協会
- 4月 ●「プラスチック資源循環促進法」施行

歴代役員・役職

〔第Ⅰ期 1982(昭和57)年度～第Ⅲ期 2002(平成14)年度〕

第Ⅰ期

リサイクル調査・研究

	1982～83年度 (昭和57年7月～昭和58年9月)	1983～84年度 (昭和58年10月～昭和60年3月)	1985年度 (昭和60年)	1986年度 (昭和61年)	1987年度 (昭和62年)
会 長	吉野工業所 木下 晴美	東洋製罐 野原 繁三	大日本イン化学工業 近藤 浩司	ダイヤブロー 加納 正純	東都成型 鈴木 倫敦
副 会 長	帝人 小田 克己	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	ユニチカ 藤林 貞夫	鐘淵化学工業 乾 佐太郎	日本ユニベツト 八星 孚
事 務 局 長	——	——	——	——	——
会 計 監 査	ダイヤブロー 広根 国衛	東都成型 鈴木 倫敦	井上エムティーピー 後藤 宗男	山村硝子 松井 宏仁	富川化学工業 岡本 昭二
技 術 W . G	吉野工業所 木下 晴美	大日本イン化学工業 近藤 浩司	東洋製罐 野原 繁三	帝人 吉村 雅夫	ダイヤブロー 富田 敏彦
調 査 W . G	日本ユニベツト 内田 庄平	帝人 向井 淳彦	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	三井ペット樹脂 松崎 敬三郎	吉野工業所 木下 晴美
広 報 W . G	帝人 向井 淳彦	吉野工業所 木下 晴美	吉野工業所 木下 晴美	吉野工業所 木下 晴美	クラレ 渡辺 俊一

第Ⅱ期

自主的なリサイクル

	1993年度 (平成5年)	1994年度 (平成6年)	1995年度 (平成7年)	1996年度 (平成8年)	1997年度 (平成9年)
会 長	東洋製罐 登坂 幸作	東洋製罐 登坂 幸作	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 峰村 清治	東洋製罐 木原 弘二
副 会 長	吉野工業所 吉野 祥一郎 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	吉野工業所 吉野 祥一郎 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 登坂 幸作 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 登坂 幸作 三井石油化学工業 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	吉野工業所 峰村 清治 三井石油化学工業 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平
専 務 理 事	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武	専任 中西 武
事 務 局 長	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修
事 務 局	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂
会 計 監 査	鐘淵化学工業 轟 庸蔵	鐘淵化学工業 轟 庸蔵	鐘淵化学工業 松本 英文	鐘淵化学工業 松本 英文	カナボウ合繊 水野 貞男
企 画 委 員 会 委 員 長	三井ペット樹脂 劔持 武治	三井ペット樹脂 劔持 武治	東洋製罐 木原 弘二	東洋製罐 木原 弘二	吉野工業所 関 忠司
副 委 員 長	ユニチカ 矢野 良彦 東洋製罐 今岡 信房	ユニチカ 矢野 良彦 東洋製罐 今岡 信房	吉野工業所 峰村 清治 三井ペット樹脂 劔持 武治 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 矢野 良彦	吉野工業所 峰村 清治 三井石油化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 齊藤 正昭	東洋製罐 森 章次 三井石油化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平 ユニチカ 長沢 次男
調査・広報委員会 委 員 長	大日本印刷 大木 和夫	大日本印刷 牛尾 正勝	凸版印刷 麻生 邦彦	凸版印刷 柳沼 清一	凸版印刷 小川 和夫
副 委 員 長	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 阿部 博紀 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 木村 修司 長瀬産業 佐多 永行	クラレ 中塚 一 長瀬産業 宮裡 和弘
技 術 委 員 会 委 員 長	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 内田 庄平
副 委 員 長	吉野工業所 串田 秀男 ダイヤブロー 野中 矩仁	吉野工業所 板倉 武 ダイヤブロー 野中 矩仁	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 長谷川 秀夫	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 長谷川 秀夫	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 吉井 靖
資源化委員会 委 員 長	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 峰村 清治	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 関 忠司
副 委 員 長	東洋製罐 今岡 信房 帝人 入江 修二	東洋製罐 今岡 信房 帝人 入江 修二	東洋製罐 今岡 信房 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 今岡 信房 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 森 章次 帝人 上田 隆夫
再利用委員会 委 員 長	東洋製罐 西出 順一	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 市川 昭典
副 委 員 長	吉野工業所 串田 秀男 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 矢野 良彦 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 齊藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 齊藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘
設 備 委 員 会 委 員 長	——	東洋製罐 鈴木 醇一	東洋製罐 鈴木 醇一	吉野工業所 細川 泰平	吉野工業所 細川 泰平
副 委 員 長	——	吉野工業所 細川 泰平	吉野工業所 細川 泰平	東洋製罐 谷道 行弘	東洋製罐 谷道 行弘

第Ⅲ期

容リ法に

	1988年度 (昭和63年)	1989年度 (平成元年)	1990年度 (平成2年)	1991年度 (平成3年)	1992年度 (平成4年)
会 長	吉野工業所 木下 晴美	東洋製罐 野原 繁三	大日本化学工業 須藤 秀介	大日本化学工業 須藤 秀介	ダイヤブロー 坂本 堅一
副 会 長	クラレ 島田 光雄	帝人 向井 淳彦	三井ペット樹脂 劔持 武治	ユニチカ 矢野 良彦 三井ペット樹脂 劔持 武治	ユニチカ 矢野 良彦 三井ペット樹脂 劔持 武治 大日本印刷 大木 和夫
事 務 局 長	クラレ 西野 安	帝人 上田 隆夫	三井ペット樹脂 西田 博	三井ペット樹脂 出川 幸雄	専任 三輪 玄修
会 計 監 査	井上エムティーピー 山上 貢	大日本印刷 中村 謙一郎	井上エムティーピー 浅岡 昌夫	山村硝子 松井 宏二	山村硝子 松井 宏仁
技 術 W . G	山村硝子 先水 孝之	日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 平田 貞夫	クラレ 中塚 一	クラレ 中塚 一
調 査 W . G	鐘淵化学工業 永井 潔	大日本化学工業 須藤 秀介	ユニチカ 藤林 貞夫	北海製罐 海住 鯨介	北海製罐 海住 鯨介
広 報 W . G	東洋製罐 野原 繁三	ダイヤブロー 広根 国衛	鐘淵化学工業 島 洋一	大日本印刷 大木 和夫	大日本印刷 大木 和夫
リサイクル推進 特 別 委 員 長	――	――	――	東洋製罐 野原 繁三	東洋製罐 野原 繁三
副 委 員 長	――	――	――	吉野工業所 中西 武 日本ユニベツト 八星 孚	吉野工業所 中西 武 日本ユニベツト 八星 孚
山一プロジェクト	――	――	――	――	三井ペット樹脂 劔持 武治

基づくリサイクル

	1998年度 (平成10年)	1999年度 (平成11年)	2000年度 (平成12年)	2001年度 (平成13年)	2002年度 (平成14年)
会 長	東洋製罐 木原 弘二	吉野工業所 堀込 辰雄	吉野工業所 堀込 辰雄	東洋製罐 和田 國男	東洋製罐 和田 國男
副 会 長	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	東洋製罐 森 章次 三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一	東洋製罐 森 章次 三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一
専 務 理 事	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一	専任 西出 順一
事 務 局 長	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修	専任 三輪 玄修
事 務 局	専任 坂東 茂 顧問 中西 武	専任 坂東 茂	専任 坂東 茂	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔
会 計 監 査	カネボウ合繊 水野 貞男	カネボウ合繊 下川 順造	三菱樹脂 馬場 健治	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 工藤 寛
企 画 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 堀込 辰雄	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次
副 委 員 長	東洋製罐 森 章次 三井化学 子安 龍太郎 日本ユニベツト 内田 庄平	三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 平野 高司	三井化学 周郷 毅 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 平野 高司	三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 堀込 辰雄	三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一 吉野工業所 堀込 辰雄
調査・広報委員会 委 員 長	北海製罐 奈良 一弘	北海製罐 東島 紘一	大日本印刷 長谷川 浩	大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一
副 委 員 長	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 大日本印刷 長谷川 浩	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 川瀬 建雄 北海製罐 東島 紘一	クラレ 中塚 一 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 東島 紘一	大日本印刷 長谷川 浩 ユニチカ 吉原 寛 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 東島 紘一
技 術 委 員 会 委 員 長	日本ユニベツト 内田 庄平	日本ユニベツト 永野 豊	三井化学 矢萩 正義	三井化学 矢萩 正義	帝人化成 米ノ井 章男
副 委 員 長	吉野工業所 板倉 武 三菱樹脂 吉井 靖	吉野工業所 板倉 武 東洋製罐 杉本 毅	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 杉本 毅	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠
資源化委員会 委 員 長	吉野工業所 関 忠司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司
副 委 員 長	東洋製罐 森 章次 帝人 上田 隆夫	東洋製罐 宮川 洋志 帝人 岩田 啓一	東洋製罐 塚原 善樹 帝人 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博
再利用委員会 委 員 長	東洋製罐 市川 昭典	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹
副 委 員 長	吉野工業所 関 忠司 ユニチカ 斉藤 正昭 鐘淵化学工業 黒田 紘	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義

歴代役員・役職

[第Ⅳ期 2003(平成15)年度～2012(平成24)年度]

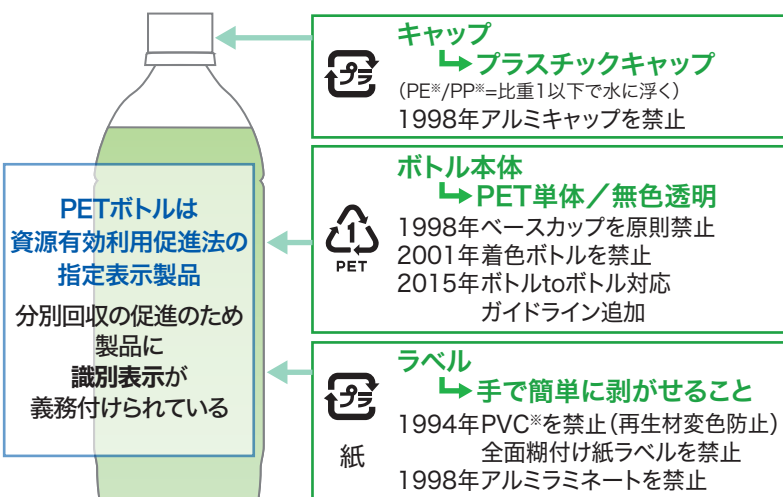
第Ⅳ期

容リ協に基づくリサイクル・充実

	2003年度 (平成15年)	2004年度 (平成16年)	2005年度 (平成17年)	2006年度 (平成18年)	2007年度 (平成19年)
会 長	吉野工業所 下谷 正彦	吉野工業所 豊田 保	東洋製罐 和田 國男	東洋製罐 中山 伊知郎	吉野工業所 服部 政夫
副 会 長	東洋製罐 森 章次 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一	東洋製罐 森 章次 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 大股 健 日本ユニベツト 深尾 年樹
専 務 理 事	専任 伊藤 勇	専任 伊藤 勇	専任 伊藤 勇	専任 松野 建治	専任 松野 建治
事 務 局 長	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二
事 務 局	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔	専任 安達 憲輔	専任 元神 弘史	専任 元神 弘史
会 計 監 査	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 加藤 政男	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 工藤 寛	三菱樹脂 豊田 正紀
企 画 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	東洋製罐 森 章次	吉野工業所 近藤 方人	吉野工業所 近藤 方人
副 委 員 長	吉野工業所 堀込 辰雄 三井化学 出川 幸雄 日本ユニベツト 吉見 健一	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 町田 吉生 日本ユニベツト 深尾 年樹	東洋製罐 堀口 誠 三井化学 大股 健 日本ユニベツト 深尾 年樹
調 査・広 報 委 員 会 委 員 長	クラレ 中塚 一	ユニチカ 加藤 耕作	ユニチカ 加藤 耕作	凸版印刷 横尾 耕一	凸版印刷 横尾 耕一
副 委 員 長	ユニチカ 吉原 寛 大日本印刷 長谷川 浩 凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	ユニチカ 加藤 耕作 大日本印刷 長谷川 浩 クラレ 中塚 一 北海製罐 福澤 直俊	ユニチカ 加藤 耕作 大日本印刷 長谷川 浩 クラレレーティング 山越 聡 北海製罐 福澤 直俊
技 術 委 員 会 委 員 長	帝人化成 米ノ井 章男	東洋製罐 堀口 誠	東洋製罐 堀口 誠	日本ユニベツト 渡辺 俊文	日本ユニベツト 中村 隆
副 委 員 長	吉野工業所 小杉 昭和 東洋製罐 堀口 誠	日本ユニベツト 越智 明宏 吉野工業所 小杉 昭和	日本ユニベツト 渡辺 俊文 吉野工業所 小杉 昭和	吉野工業所 小杉 昭和 北海製罐 山下 裕二	吉野工業所 今井 利男
資 源 化 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司
副 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 池谷 博	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 森野 久和
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 高木 隆夫	東洋製罐 高木 隆夫
副 委 員 長	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 吉原 寛 三井化学 矢萩 正義	吉野工業所 平野 高司 ユニチカ 加藤 耕作 三井化学 守山 茂樹

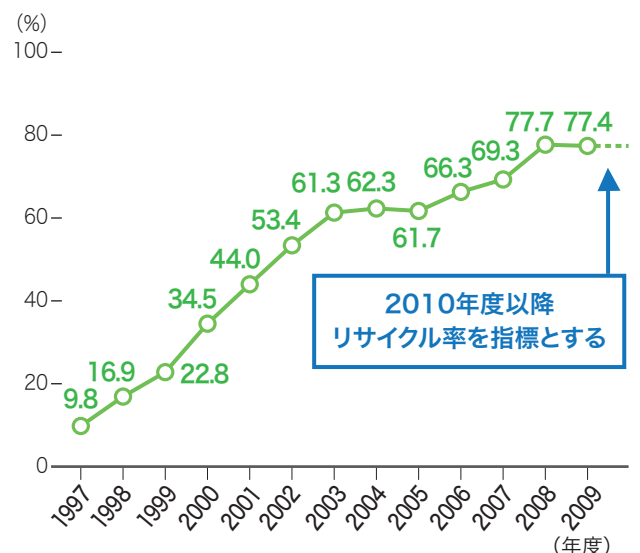
PETボトル自主設計ガイドライン (1992年制定)

清涼飲料(含乳飲料)、特定調味料(しょうゆ他)、酒類



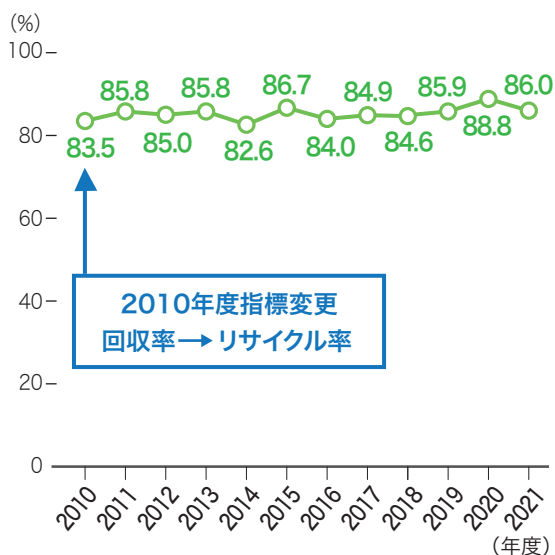
※PE:ポリエチレン、PP:ポリプロピレン、PVC:ポリ塩化ビニル

回収率

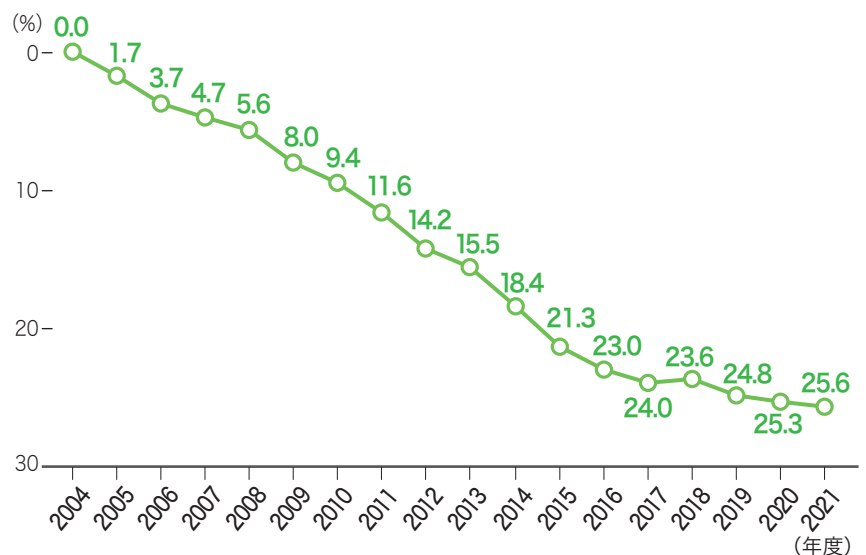


	2008年度 (平成20年)	2009年度 (平成21年)	2010年度 (平成22年)	2011年度 (平成23年)	2012年度 (平成24年)
会 長	吉野工業所 服部 政夫	東洋製罐 林 伸行	東洋製罐 林 伸行	吉野工業所 麦倉 誠	吉野工業所 麦倉 誠
副 会 長	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 野村 公生 日本ユニベツト 深尾 年樹	吉野工業所 近藤 方人 三井化学 矢萩 正義 日本ユニベツト 鈴木 千多賀	吉野工業所 栗山 正 三井化学 加藤 洋三 日本ユニベツト 永江 一剛	東洋製罐 宮澤 哲夫 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 永江 一剛	東洋製罐 宮澤 哲夫 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行
専 務 理 事	専任 松野 建治	専任 松野 建治	専任 近藤 方人	専任 近藤 方人	専任 近藤 方人
事 務 局 長	専任 新美 宏二	専任 新美 宏二	専任 矢萩 正義	専任 矢萩 正義	専任 矢萩 正義
事 務 局	専任 山田 和男	専任 山田 和男	専任 山田 和男	専任 戸川 陽一	専任 戸川 陽一
会 計 監 査	三菱樹脂 豊田 正紀	三菱樹脂 豊田 正紀	三菱樹脂 津山 晃一	三菱樹脂 津山 晃一	三菱樹脂 鮫島 拓也
企 画 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 近藤 方人	吉野工業所 近藤 方人	東洋製罐 宮澤 哲夫	東洋製罐 宮澤 哲夫	東洋製罐 宮澤 哲夫
副 委 員 長	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 野村 公生 日本ユニベツト 深尾 年樹	東洋製罐 宮澤 哲夫 三井化学 矢萩 正義 日本ユニベツト 鈴木 千多賀	吉野工業所 栗山 正 三井化学 加藤 洋三 日本ユニベツト 永江 一剛	吉野工業所 栗山 正 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 永江 一剛	吉野工業所 栗山 正 MCTベツトレヅン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行
調 査 ・ 広 報 委 員 会 委 員 長	北海製罐 福澤 直俊	北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 中込 隆	大日本印刷 中込 隆	凸版印刷 横尾 耕一
副 委 員 長	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 長谷川 浩 クラレレーテヅン 山越 聡 ユニチカ 吉原 寛	凸版印刷 横尾 耕一 大日本印刷 中込 隆 ユニチカ 吉原 寛	凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊 ユニチカ 桜井 淳一	凸版印刷 横尾 耕一 北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 中込 隆 北海製罐 福澤 直俊
技 術 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 今井 利男	吉野工業所 今井 利男	三井化学 高橋 浩二	MCTベツトレヅン 高橋 浩二	北海製罐 福澤 直俊
副 委 員 長	三井化学 山野邊 聡	三井化学 矢萩 正義	北海製罐 福澤 直俊	北海製罐 福澤 直俊	東洋製罐 中町 浩司
資 源 化 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	吉野工業所 平野 高司	(休会)
副 委 員 長	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 森野 久和	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 山田 昇一郎	東洋製罐 塚原 善樹 帝人化成 山田 昇一郎	東洋製罐 塚原 善樹	
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫
PETボツル協議会 再利用委員会活動はPETボツルリサイクル推進協議会 回収・再利用促進委員会での活動とした。					
推 奨 マ ー ク 認 定 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志	東洋製罐 宮川 洋志
副 委 員 長	吉野工業所 平野 高司 三井化学 野村 公生 ユニチカ 吉原 寛	吉野工業所 平野 高司 三井化学 矢萩 正義 ユニチカ 吉原 寛	吉野工業所 平野 高司 三井化学 高橋 浩二 ユニチカ 桜井 淳一	吉野工業所 平野 高司 MCTベツトレヅン 小川 公博	吉野工業所 栗山 正

リサイクル率



軽量化率



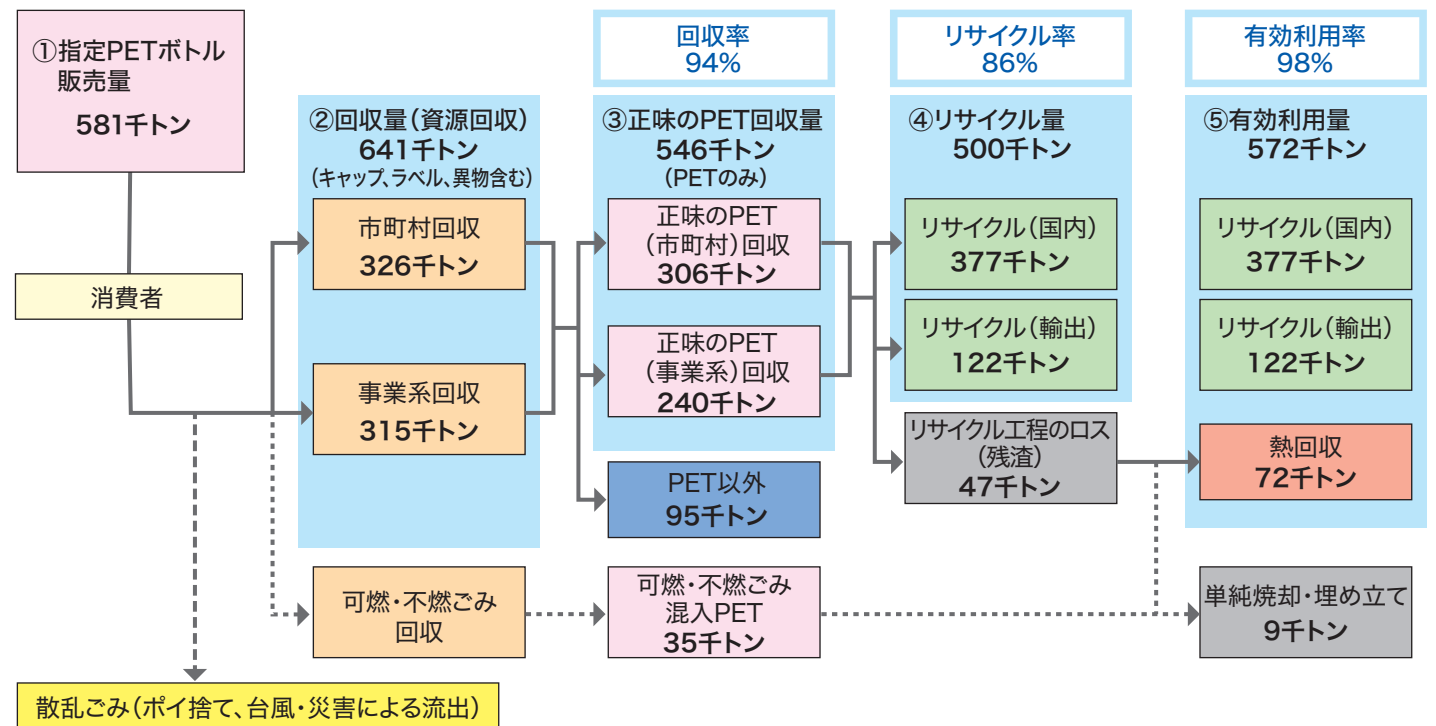
歴代役員・役職 [第Ⅳ期 2013(平成25)年度～2022(令和4)年度]

第Ⅳ期 容リ協に基づくリサイクル・充実

	2013年度 (平成25年)	2014年度 (平成26年)	2015年度 (平成27年)	2016年度 (平成28年)	2017年度 (平成29年)
会 長	東洋製罐 水戸川 正美	東洋製罐 水戸川 正美	吉野工業所 古塩 秀一	吉野工業所 古塩 秀一	東洋製罐 森 泰治
副 会 長	吉野工業所 栗山 正 MCTペットレジン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行	吉野工業所 栗山 正 三井化学 伊澤 一雅 日本ユニベツト 吉川 正行	東洋製罐 中町 浩司 三井化学 伊澤 一雅 日本ユニベツト 藤森 義哲	東洋製罐 中町 浩司 三井化学 伊澤 一雅 日本ユニベツト 藤森 義哲	吉野工業所 古塩 秀一 三井化学 高部 寛仁 日本ユニベツト 西村 友宏
専 務 理 事	専任 宮澤 哲夫	専任 宮澤 哲夫	専任 宮澤 哲夫	専任 宮澤 哲夫	専任 宮澤 哲夫
事 務 局 長	専任 矢作 正義	専任 末永 寿彦	専任 末永 寿彦	専任 末永 寿彦	専任 末永 寿彦
事 務 局	専任 戸川 陽一	専任 中村 隆	専任 中村 隆	専任 中村 隆	専任 中村 隆
会 計 監 査	三菱樹脂 鮫島 拓也	三菱樹脂 鮫島 拓也	三菱樹脂 長谷川 久美子	三菱樹脂 長谷川 久美子	三菱ケミカル 田中 幸弘
企 画 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 栗山 正	吉野工業所 栗山 正	吉野工業所 秋野 卓也	吉野工業所 秋野 卓也	吉野工業所 秋野 卓也
副 委 員 長	東洋製罐 三富 暁人 MCTペットレジン 宮入 信 日本ユニベツト 吉川 正行	東洋製罐 三富 暁人 三井化学 伊澤 一雅 日本ユニベツト 吉川 正行	東洋製罐 中町 浩司 三井化学 伊澤 一雅 日本ユニベツト 藤森 義哲	東洋製罐 中町 浩司 三井化学 高橋 浩二 日本ユニベツト 藤森 義哲	東洋製罐 中町 浩司 三井化学 高橋 浩二 日本ユニベツト 津口 幸次
調 査 ・ 広 報 委 員 会 委 員 長	凸版印刷 横尾 耕一	北海製罐 福澤 直俊	北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明
副 委 員 長	大日本印刷 中込 隆 北海製罐 福澤 直俊	大日本印刷 伊藤 克伸 凸版印刷 横尾 耕一	大日本印刷 伊藤 克伸 凸版印刷 横尾 耕一	凸版印刷 植松 正浩 北海製罐 福澤 直俊	凸版印刷 植松 正浩 北海製罐 三田 和彦
技 術 委 員 会 委 員 長	北海製罐 福澤 直俊	東洋製罐 中町 浩司	東洋製罐 中町 浩司	日本ユニベツト 津口 幸次	日本ユニベツト 津口 幸次
副 委 員 長	東洋製罐 中町 浩司	日本ユニベツト 仲井 保樹	日本ユニベツト 小見山 恵	吉野工業所 田中 文典	吉野工業所 田中 文典
再 利 用 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 小松 郁夫	吉野工業所 田中 文典	吉野工業所 田中 文典	吉野工業所 田中 文典
PETボトル協議会 再利用委員会活動は2008年度以降PETボトルリサイクル推進協議会 回収・再利用促進委員会での活動とした。					
推 奨 マーク 認 定 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 秋野 卓也	吉野工業所 秋野 卓也	凸版印刷 横尾 耕一	東洋製罐 小松 郁夫	東洋製罐 藤本 哲也
副 委 員 長	東洋製罐 安藤 宗近	東洋製罐 塚原 善樹	東洋製罐 塚原 善樹	吉野工業所 秋野 卓也	吉野工業所 秋野 卓也

※資源化委員会は2012年度以降休会

指定PETボトルのリサイクルの流れ(2021年度)



	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)
会 長	東洋製罐 森 泰治	吉野工業所 佐藤 澄人	吉野工業所 佐藤 澄人	東洋製罐GHD 金子 友昭	東洋製罐GHD 金子 友昭
副 会 長	吉野工業所 古塩 秀一 三井化学 高部 寛仁 三菱ケミカル 齊川 学	東洋製罐GHD 中町 浩司 三井化学 高部 寛仁 三菱ケミカル 松園 真一郎	東洋製罐GHD 中町 浩司 三井化学 高部 寛仁 三菱ケミカル 牧野 達也	吉野工業所 佐藤 澄人 三井化学 伊藤 厚実 三菱ケミカル 中務 喜友	吉野工業所 佐藤 澄人 三井化学 伊藤 厚実 三菱ケミカル 中務 喜友
専 務 理 事	専任 秋野 卓也	専任 秋野 卓也	専任 秋野 卓也	専任 秋野 卓也	専任 小松 郁夫
事 務 局 長	専任 浅野 正彦	専任 浅野 正彦	専任 浅野 正彦	専任 浅野 正彦	専任 浅野 正彦
事 務 局	専任 中村 隆	専任 赤羽 秀夫	専任 赤羽 秀夫	専任 赤羽 秀夫	専任 赤羽 秀夫
会 計 監 査	大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明
企 画 委 員 会 委 員 長	東洋製罐 中町 浩司	東洋製罐GHD 中町 浩司	東洋製罐GHD 中町 浩司	東洋製罐GHD 中町 浩司	東洋製罐GHD 中町 浩司
副 委 員 長	吉野工業所 横田 憲雄 三井化学 高橋 浩二 三菱ケミカル 田中 幸弘	吉野工業所 横田 憲雄 三井化学 高橋 浩二 三菱ケミカル 鮫島 拓也	吉野工業所 横田 憲雄 三井化学 高橋 浩二 三菱ケミカル 鮫島 拓也	吉野工業所 横田 憲雄 三井化学 高橋 浩二 三菱ケミカル 鮫島 拓也	吉野工業所 横田 憲雄 三井化学 高橋 浩二 三菱ケミカル 鮫島 拓也
調査・広報委員会 委 員 長	東洋製罐 高橋 望	東洋製罐GHD 小松 郁夫	北海製罐 三田 和彦	北海製罐 三田 和彦	大日本印刷 高橋 正明
副 委 員 長	凸版印刷 植松 正浩 北海製罐 三田 和彦 大日本印刷 高橋 正明	凸版印刷 山田 久子 北海製罐 三田 和彦 大日本印刷 高橋 正明	大日本印刷 高橋 正明 東洋製罐GHD 小松 郁夫 凸版印刷 川田 靖	大日本印刷 高橋 正明 東洋製罐GHD 小松 郁夫 凸版印刷 川田 靖	北海製罐 三田 和彦 凸版印刷 山田 久子 東洋製罐GHD 青柳 真由美
技 術 委 員 会 委 員 長	吉野工業所 田中 文典	三井化学 高橋 浩二	吉野工業所 近藤 恵善	吉野工業所 近藤 恵善	北海製罐 仲根 宏幸
副 委 員 長	三井化学 高橋 浩二	吉野工業所 浅利 勉	北海製罐 仲根 宏幸	北海製罐 仲根 宏幸	東洋製罐GHD 吉川 雅之
再利用委員会 委 員 長	吉野工業所 浅利 勉	吉野工業所 浅利 勉	吉野工業所 浅利 勉	吉野工業所 浅利 勉	吉野工業所 浅利 勉
	PETボトル協議会 再利用委員会活動は2008年度以降PETボトルリサイクル推進協議会 回収・再利用促進委員会での活動とした。				
推奨マーク認定委員会 委 員 長	東洋製罐 藤本 哲也	東洋製罐GHD 藤本 哲也	東洋製罐GHD 藤本 哲也	東洋製罐GHD 藤本 哲也	吉野工業所 横田 憲雄
副 委 員 長	吉野工業所 横田 憲雄	吉野工業所 横田 憲雄	吉野工業所 横田 憲雄	吉野工業所 横田 憲雄	東洋製罐GHD 藤本 哲也

1. リサイクル率の算出方法

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{④リサイクル量}}{\text{①指定PETボトル販売量}} \times 100 (\%)$$

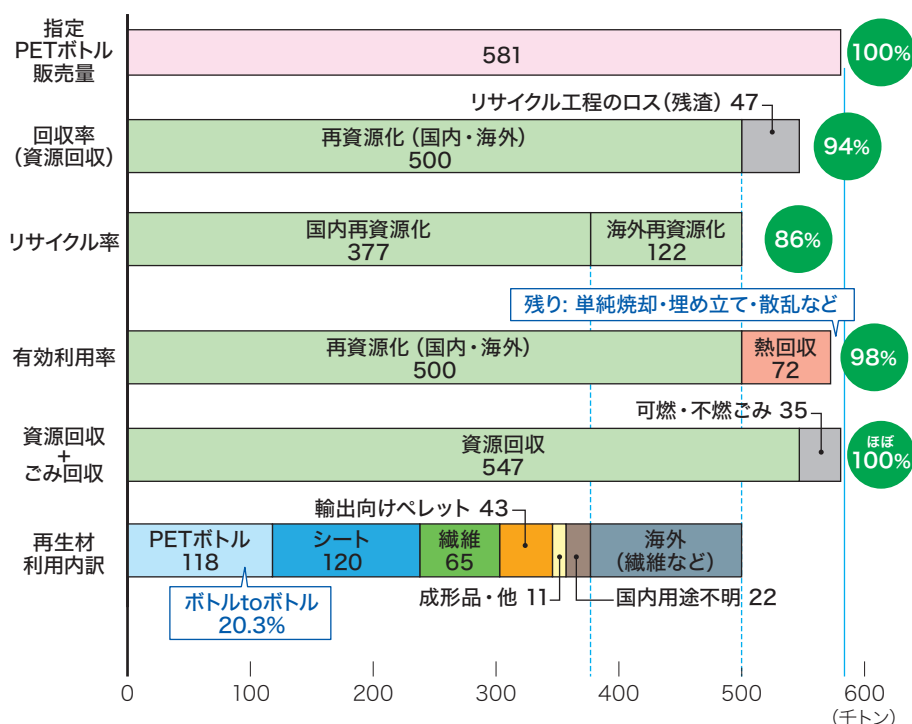
2. 回収率の算出方法

$$\text{回収率} = \frac{\text{③正味の回収量}}{\text{①指定PETボトル販売量}} \times 100 (\%)$$

3. 有効利用率

$$\text{有効利用率} = \frac{\text{⑤有効利用量}}{\text{①指定PETボトル販売量}} \times 100 (\%)$$

回収・リサイクル・有効利用とは



RING 創刊号(1996年)

RING Vol.12 1996年12月

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

今こそ、資源再利用の知恵を出そう！

優れた資源、PETボトル

各地で収集！...PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.21 2008年10月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

3R新時代の展望

資源循環型社会形成に向けて

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.12 1996年12月

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

世界最高水準の回収率53.4%を達成！

2008年度のPETボトルの回収率は53.4%を達成し、世界最高水準を達成した。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.22 2008年11月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

3R新時代の展望

資源循環型社会形成に向けて

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.23 2008年12月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

3R新時代の展望

資源循環型社会形成に向けて

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.31 2013年5月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

さらなる進展が期待されるPETボトルリサイクル

主官3省に関連業界への提言を聞く

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.32 2014年10月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

PETボトルリサイクルの現状と課題

資源循環型社会形成に向けて

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

RING Vol.33 2014年11月号

PET BOTTLE RECYCLING

創刊号

発行：PETボトルリサイクル推進協議会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5264-7901
FAX 03-5264-2853

PETボトルリサイクルの現状と課題

資源循環型社会形成に向けて

PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。PETボトルの回収活動が活況を呈している。

【特別対談】

環境革命 胎動から大きな動きへ

2004年東京五輪の聖火のテーマは「環境のつどい」と、つどいをめざすこと、環境と経済の両立を追求する活動が展開されています。さらに2004年東京五輪の聖火のテーマは「環境のつどい」と、つどいをめざすこと、環境と経済の両立を追求する活動が展開されています。



この対談は、2004年東京五輪の聖火のテーマは「環境のつどい」と、つどいをめざすこと、環境と経済の両立を追求する活動が展開されています。さらに2004年東京五輪の聖火のテーマは「環境のつどい」と、つどいをめざすこと、環境と経済の両立を追求する活動が展開されています。

環境革命 胎動から大きな動きへ

環境革命 胎動から大きな動きへ

環境革命 胎動から大きな動きへ

PETボトルリサイクル推進協議会 広報誌

RING Vol.28

2010年5月号

持続可能な資源循環型社会形成に向けて

田中 野矢インタビュー

PETボトルリサイクル推進協議会 広報誌

RING Vol.29

2010年6月号

流通事業とPETボトルの国内循環

PETボトルリサイクル推進協議会 広報誌

RING Vol.36

2018年6月号

環境先進都市・東京へ

一持続可能な世界をめざして

東京五輪聖火 小池 百合子氏

PETボトルリサイクル推進協議会 会長 森 泰治

副会長 中田 雅史

事務局長 名澤 哲夫(代表)

PETボトルリサイクル推進協議会 広報誌

RING Vol.37

2018年7月号

PETボトルリサイクルの現状と課題

寺岡 淳氏

RINGのバックナンバーは「PETボトルリサイクル推進協議会」のホームページをご覧ください。

会 員 名 簿

(2023年2月現在)

| 正 会 員 |

東洋製罐株式会社
三菱ケミカル株式会社
大和製罐株式会社
富川化学工業株式会社
北海製罐株式会社

株式会社吉野工業所
杉プラスチック工業株式会社
DICプラスチック株式会社
日本パリソン株式会社
三菱ガス化学株式会社

三井化学株式会社
大日本印刷株式会社
凸版印刷株式会社
パイオニア工業株式会社

| 準 正 会 員 |

双日プラネット株式会社
三菱商事プラスチック株式会社

豊田通商株式会社
岩谷産業株式会社

三井物産株式会社
小林容器株式会社

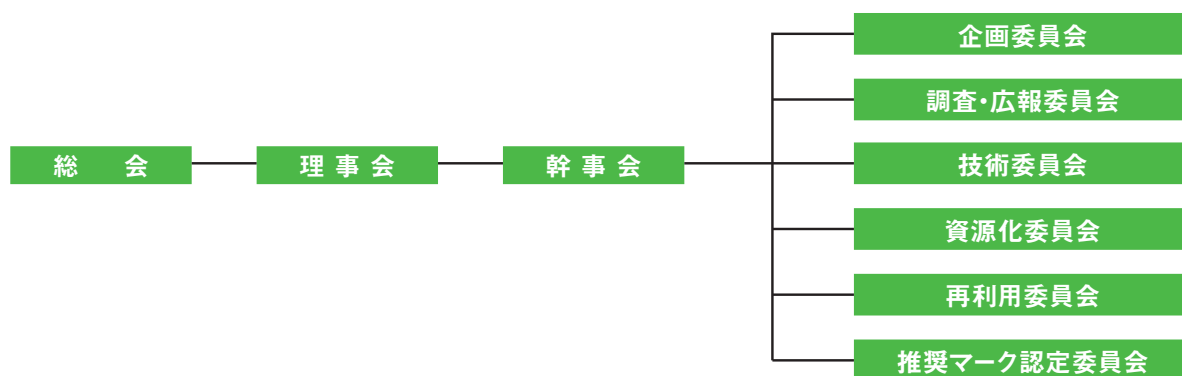
| 賛 助 会 員 |

グンゼ株式会社
PETトレイ協議会

日本クロージャー株式会社
大阪シーリング印刷株式会社

株式会社フジシール
株式会社フロンティア

PETボトル協議会組織図



PETボトル協議会

〒103-0012 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル2階
TEL. 03-3662-7591 FAX. 03-5623-2885
URL <https://www.petbottle-rec.gr.jp>

